

田原公民館報

平成28年
新年号



法人 田原公民館
〒1078-1
奈良市若荷町1078-1
TEL 81-0888
発行責任者 泉森 由貴

「始まりの1」

館長 泉森 由貴

新年あけましておめでとございます。家族で過ごす、水入らずのお正月。ストーブやこたつを囲んで団らんする様子が浮かんできます。新しい服をおろしたり、初詣で出かけたり。お雑煮もそれぞれの家の味があることでしょうか。一年で一番習慣や伝統を身近に感じられる時です。



絵 平古力三

さて、1月は始まりの1です。日本では古来から0という概念はなく、スタートは1でした。0月0日はなく、1月1日から始まるのです。数え年という日本特有の考え方は、生まれた子は皆一歳でした。そして年が変わると一斉に年齢を加えます。年の始まりは歳の始まりでもあったのです。だから、皆でそろって「おめでと」なんです。1月に成人の日があるのは、このようなことから納得できます。

20歳の成人を祝う成人式も日本独自の行

事です。遡ること奈良時代の元服という儀式をはじめとするものだそうです。これは私事ですが、1月に誕生日を迎えた息子は10歳になります。ちょうど20歳の半分。世間では2分の1成人というそうです。学校によっては1/2成人式を開催し、お祝いする行事もあるといわれています。以前、成長の節目について書きましたが、10歳といえは幼さから少年の強さへと変わっていくような時期です。プレティーンともいい、年齢を初めて意識する時かもしれません。20歳が成人だから、半分おとな。二桁年齢の間入りです。

誕生日が楽しみだったそのころから思うと、人はいつからか歳を重ねることにどこかマイナスのイメージをもつようになりま。それは、加齢を老いと考えからでしょうか。でも、見方を変えてみて成人の何倍生きたという考え方にしてみよう。例え40歳なら2度目の成人。60歳なら3倍おとなというように。人足に出て20歳の3倍4倍の力を出すことはできませんが、知識と経験は重ねた時の長さに比例し3倍4倍と膨らんでいきます。そしてそのたくさんさんの知識を次代に伝えていく、繋いでいく場所がこの公民館でありたいと思います。主催事業で作ったしめ縄で迎えるお正月。田原公民館の一年が今年も始まります。本年もどうぞよろしくお願いたします。

新春によせて

田原地区自治連合会長 松本 陽一

あけましておめでとございます。

みなさまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

さて、昨年は前会長の浦辻さまがご勇退され、思いもよらず連合会長という大役をお引き受けし、ただただ年間のスケジュールに右往左往してまいりました。



各町の自治会長のみなさまや各種団体の方々のご協力でなんとか年末まで、やっとの思いで過ごしてまいりました。関係の方々のご協力とご尽力のおかげと心より感謝申し上げます。

今年「申(サル)」年でその意味は「伸ばす」であり「草木が十分伸びきった時期で、実が成熟して香りと味が備わり固く殻におおわれていく時期」とされています。

また、申年は「申(サル)」が「去る」という意味を表し「悪いことが去る」「病が去る」などと、いいことや幸せがやってくる年とも言われているようです。

本年が田原地区にかかわるみなさまにとって幸い多いことを祈念し、年頭のご挨拶といたします。



「プチ田舎暮らし・田原白菜作り」大収穫で終了しました！

お盆のころに種まきをして、9月に雨の中、苗を植えた、白菜作りの講座。良い条件がいくつも重なったのか、最後に収穫した数はなんと450個でした。途中肥料が不足したり、害虫が発生したりいろいろな事が起こりましたが、参加者のみなさんとはとても満足げに畑の後始末をされていました。参加者のお一方から感想をいただきました。

白菜作りに参加して

受講生 久保 政行さん

「うわあ、なんてみずみずしくておいしい。」今回、参加した「プチ田舎暮らし・田原白菜作り」でできた白菜や野菜を使って我が家で鍋をしたときに、家族から思わず漏れた感想です。



もともと趣味で数年前から家庭菜園をしていた私は、一度、プロの方に教えてもらいたいと思い、たまたまウェブサイトで見つけた今回の講座。「まさしく私のための講座だ」と思い、すぐに申し込みました。

4回にわたって開催された講座の初日は白菜の苗、水菜、春菊の種まき等を行いました。3ヶ月後にどんな野菜ができるのだろうとわくわくしていたのを今も覚えています。その後、草取りや追肥、間引きの作業を行い、3回目には料理実習も行いました。普段、慣れない料理に私も含め男性陣は四苦八苦しておりましたが、やはり自分達がつくった野菜を使った料理は格段とおいしく、料理の苦勞も吹っ飛びました。

〈裏面へつづく〉

最終日には収穫と畑の片付けを行い、終了後には先生、公民館のスタッフ、参加者の方々と一緒にたき火を囲みながら猪肉入りの芋煮鍋を和気藹々といただきました。「同じ釜の飯を食う」とはよく言ったもので、作業をともにしたみなさんと一緒にいただくお鍋で、よりお互いの絆が深まったように思います。

今回、宮本先生、安達先生、田原公民館のスタッフ、地域の方々の皆様のご協力のおかげで貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。ございました。



収穫したたくさんの冬野菜たち

常総市鬼怒川水害義援金へバザーの売り上げを寄付いたしました

11月の田原なんでも文化祭において、今年もチャリティバザーを実施しました。有線放送や当館報で地域や公民館利用者の方に呼びかけたところ、洗剤、タオル類、陶器などがたくさん集まりました。今回の売り上げは9月に起こった鬼怒川の大水害で被災された方へ向け、常総市の窓口を通じて寄付いたしました。金額は2万7千938円。一日でも早い復興をお祈りしています。皆さまのご協力、本当にありがとうございました。



田原地区地域おこし協力隊のコーナー. Includes a graphic with names 佐伯 雄 and 瀬戸山 景香.

第5回「あけましておめでとう」です。

皆様、明けましておめでとうございます。昨年は、私も地域おこし協力隊にたくさん温かい声をかけてくださり、ありがとうございました。おかげさまで毎日充実した日々を過ごすことができました。この場をお借りして御礼申し上げます。

12月、「田原やま里市場」に立派な木の看板が建ったのをご覧いただけましたか？夏に製作したテラスに引き続き、県道を走っていても目立ちますよ。佐伯隊員と地域の方々が、一生懸命作業をした賜物です。12月19日に除幕式も行い、生産者の方々も嬉しそうに見てくださっていました。私は除幕式の日、写真を撮っていました。皆さんの笑顔が見れて私も嬉しかったです。こうして形になってお披露目できるまでに、いろいろな作業がありました。怪我をすることなく、よかったです。本当にお疲れ様でした。



看板除幕式の様子

こうして地域の方と一緒に作業をして、手順を教えるもらったりお話をしたり。その時

間は私達も嬉しいものです。日付が前後しますが12月13日、私は川上村地域おこし協力隊の活動報告会に行っていました。報告会にはたくさんの方の地域の方も来られていて驚きました。300人収容のホールは満席だったのです。

いろいろな報告がありましたが、カヌー体験や林業など、様々な活動をしていた川上村の協力隊も「最初は怖かった」と話してくれたのも私の胸を打ちました。こうして話せるまでになったのも、村のたくさんの方々の力添え、そして彼ら自身の負けん気があったからだろうな、と思ったのです。

こういう風になささい、というマニュアルがない分、協力隊というものを楽しくするのも苦しくするのも自分次第。改めて気が引き締まった報告会でした。

すでにたくさんの方にお力添えをいただいている私たち奈良市の協力隊。今年も皆さんと一緒に、笑いながら過ごしていきたいと思っています。どうぞよろしくお祈り致します。



川上村の報告会。協力隊は10人います。

1月の公民館行事とその他のお知らせ

- 4日 (月) 田原連絡所 開所日
6日 (水) 田原公民館 開館日
8日 (金) 田原消防団出初式
11日 (月) 成人の日
12日 (火) 田原公民館 振替え休館日
14日 (木) 大人の健康相談・乳幼児の発達・発育相談
21日 (木) プチ田舎暮らし・田原一米趣味噌作り①
23日 (土) 主催講座 第8回TAWARAキッズ
23日 (土) 平成28年 東部六地区新年懇親会
28日 (木) プチ田舎暮らし・田原一米趣味噌作り②
29日 (金) 主催講座 第7回老春塾



都祁保健センターよりお知らせ

- 就学前のお子様と保護者の方の育児教室
●大人の健康相談・乳幼児の発達・発育相談
●食推料理実習「減塩の工夫クッキング」